

ビジネスチャンス逃してませんか!?

AI翻訳ツールのユースケース 7選!

翻訳・通訳と何が違うの？



はじめに

AI翻訳ツールは、単なる翻訳機械ではありません。文脈を理解し、専門用語や業界特有の表現を反映することが可能なため、通訳と同様に、より自然で正確な翻訳ができます。また、通訳よりもはるかに低コストで導入できるのも大きな特徴です。さらに、リアルタイム翻訳や翻訳の自動化による業務効率化など、従来の通訳・翻訳手法にはない価値をも提供できます。

そのため、**多言語でコミュニケーションを取る機会が増えている近年において、ビジネスチャンス拡大のためにAI翻訳ツールを導入する企業が増えています。**

一方で、自社のビジネスにおいてAI翻訳ツールの活用シーンを想起できず、ビジネスチャンス拡大機会を逃している企業もまだまだ多いのが現状です。そこでこのホワイトペーパーでは、AI翻訳ツールのユースケースを7つ紹介します。具体的にどのような業務改善やコスト削減を実現できるのかを解説していきますので、ぜひ参考にしてみてください。

CONTENTS










はじめに	P2
AI翻訳ツールと通訳・翻訳の決定的な違い	P3
ユースケース① 国際的な会議・イベント	P4
ユースケース② 社内会議	P5
ユースケース③ 観光業（インバウンド満足度向上）	P6
ユースケース④ スポーツ観戦	P7
ユースケース⑤ 研修ツアー・工場見学	P8
ユースケース⑥ 教育現場	P9
ユースケース⑦ 各種窓口業務	P10
AI翻訳ツールなら低コスト×リアルタイムで60以上の言語に対応する「Wordly」	P11

● AI翻訳ツールと通訳・翻訳の決定的な違い

通訳や翻訳は、グローバル化が進む現代において必要不可欠な存在です。

そして、AI翻訳ツールが誕生したことで、圧倒的に低コストで人間が行う通訳や翻訳と変わらぬ高品質な多言語コミュニケーションを実現できるようになりました。

一方で「AI翻訳ツールを活用する具体的なメリットがわからない」「通訳と翻訳の違いがわからない」という方も多いため、このページではAI翻訳ツールと通訳・翻訳の違いを紹介します。

項目	AI翻訳ツール	通訳・翻訳
 速度	リアルタイム翻訳	数秒のタイムラグがある
 コスト	低コスト（サブスク・従量課金）	高コスト（人件費）
 多言語対応	多いもので60か国の言語に対応している	通訳・翻訳者によって異なる
 事前準備	ツールによってばらつきがあるが事前mtgは不要	事前mtgや備品の準備などが必要
 専門性	事前設定によって業界・組織特有の用語も認識できる	通訳・翻訳者によって異なる
 ニュアンス	ツールによってばらつきがある	細かいニュアンスも伝えやすい
 音声	機械音声	生体音声

AI翻訳ツールは通訳・翻訳者の代替となりつつあるが、どんなシーンで活用できるのか？

企業のグローバル化が進むことで、**国際会議・学会・株主総会・カンファレンス**の運営/対応にも大きな変化が求められています。

特に、テクノロジー活用による参加者の多様化は大きな課題と言えるのではないでしょうか。そこでこのページではAI翻訳ツールが国際会議・学会・株主総会・カンファレンスにもたらす効果を紹介します。

AI翻訳ツールを活用しない場合

リアルタイムでの対応が難しい

従来の通訳ではタイムラグが発生し、発言の即時理解が難しくなる。特に質疑応答の場面では、議論のスムーズな進行が妨げられる。

講演者が制限される

通訳・翻訳可能な国の講演者しか呼べない。

通訳・翻訳コストの負担が大きい

言語の数だけ専門通訳・翻訳者を手配する必要がありコストがかさむ。



AI翻訳ツールを活用した場合

リアルタイム翻訳によるスムーズな進行

AI翻訳により即時翻訳が可能となり、質疑応答やディスカッションの流れがスムーズになる。

様々な国の講演者を呼べる

話せる言語に関係なく、様々な講演者が呼べるようになる。

コスト削減と効率化

通訳者の人数を削減でき、長時間のイベントでも低コストで運用可能。



AI翻訳ツールによって期待できること

- ①グローバル投資家への情報発信強化 / ②国際会議や学会、株主総会、カンファレンスの開催機会拡大 / ③新たな市場へのアプローチ

海外に拠点を置く企業や積極的に外国人採用を推進する企業にとっては、外国語でのコミュニケーションが必要な機会も多いでしょう。しかし、言語の壁が要因で社内コミュニケーションが円滑に行えない場合、業務効率が低下するリスクや、意思決定スピードの低下などが懸念されます。AI翻訳ツールを導入すればこれらの課題を解決することが可能です。

AI翻訳ツールを活用しない場合

会議で発言するメンバーが偏る

決まったメンバーのみが発言するようになり、会議そのものの質が向上しない



意思疎通ができず、業務が滞る

言語の壁が原因で社員同士のコミュニケーションに齟齬が生まれる

AI翻訳ツールを活用した場合

言語に関わらずコミュニケーションが取れるようになる

相手の言っていることをしっかり理解できるため、業務効率低下を防げる

会議用の議事録作成時間が短縮される

AIで同時翻訳可能なため、議事録作成業務が大幅に効率化される



発言しやすくなる

言語の壁が無くなることで、国籍問わず発言がしやすくなり、斬新なアイデアの創出や新たな発見につながる

AI翻訳ツールによって期待できること

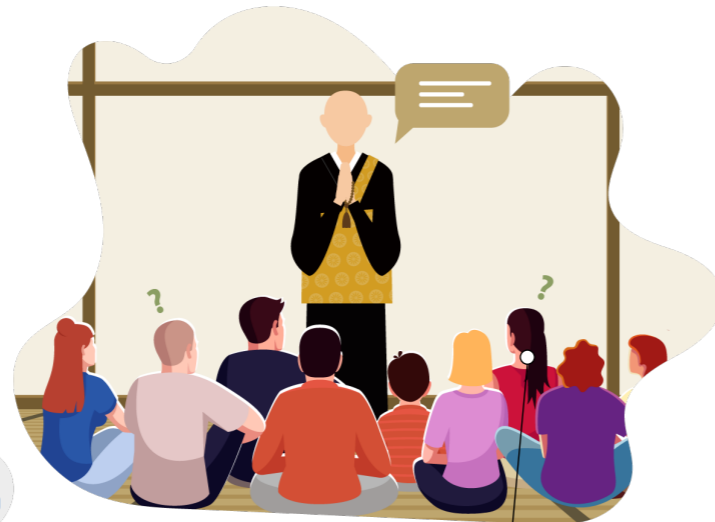
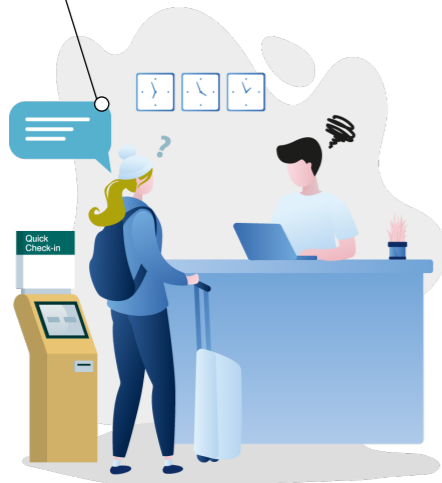
①業務効率化・ミスの軽減 / ②グローバル市場での競争力向上 / ③企業内イノベーションの創出

2024年のインバウンド数は過去最多を記録しました。一方で、まだ外国人観光客によって快適なコミュニケーション基盤が整っていないといえませんが、特に観光事業者にとってインバウンド観光客の獲得、ロイヤリティ化は重要な課題です。そんな中AI翻訳ツールはインバウンド数増加に伴うビジネスチャンス獲得にも貢献します。

AI翻訳ツールを活用しない場合

外国人観光客がホテルのチェックインに苦戦する

ホテルでの体験に不満を持ち、リピート率が下がってしまう。

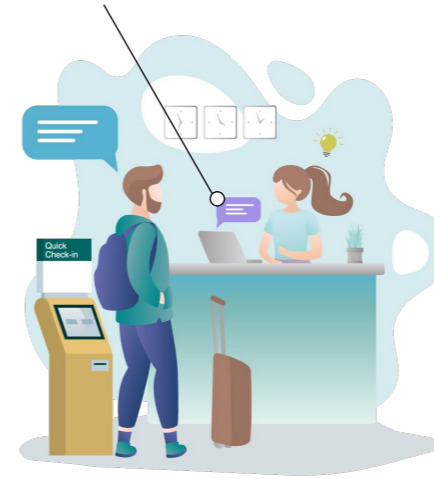


日本ならではの体験を十分に楽しめない
日本の文化を知るツアーに参加したものの、母国語での案内がない、あるいは通訳にタイムラグがあることで十分に理解できず、楽しむことができない

AI翻訳ツールを活用した場合

不測の事態でも母国語でコミュニケーションが取れる

フロントでの案内を母国語で理解できるため、ストレスのないホテル滞在を叶える



観光イベントへの参加意欲が向上する

AI翻訳ツールがあるイベントであれば安心して参加できるというマインドを醸成できる



日本の文化を知る機会が生まれる

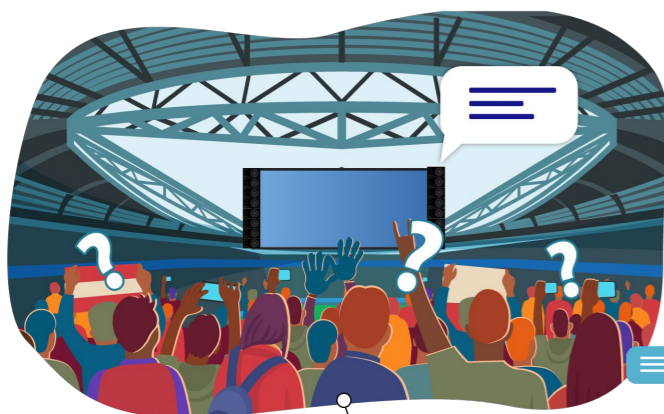
リアルタイム翻訳により、母国語でツアーの内容を理解できるため、日本の文化を深く知る

AI翻訳ツールによって期待できること

①インバウンド観光客の新規獲得・リピーター獲得 / ②観光サービスの質向上 / ③観光収入増加

国際的なスポーツイベントでは、多言語対応が不可欠ですが、会場アナウンスや試合解説、案内表示などが現地語のみの場合、外国人観戦者は十分な情報を得られません。しかし、AI翻訳ツールを活用すれば、リアルタイムでの試合解説や場内アナウンスの翻訳、チケットや会場案内の多言語対応が可能になり、観戦者の利便性が向上します。

AI翻訳ツールを活用しない場合



クレーム・トラブルが発生する

会場の案内が母国語で理解できない場合、スタッフに対するクレームや客同士のトラブルに発展する可能性がある

観客がスポーツ観戦そのものを楽しめず、利用客減少につながる

試合の実況や解説が理解できない、あるいはそもそもチケット購入に苦戦してしまう



AI翻訳ツールを活用した場合



クレーム・トラブルを未然に防げる

外国人ゲストが会場の案内をスムーズに理解できるため、クレームやトラブルが起きにくい

スポーツ観戦を純粋に楽しめる

母国語で実況や解説を理解できるため、ストレスなくスポーツ観戦を楽しめる

チケット購入もスムーズ

わからないことがあれば、AI翻訳ツールを介して質問できるため、チケット購入から試合観戦まで困ることがない



AI翻訳ツールによって期待できること

①海外からの来場客増加 / ②国内のスポーツ人気向上 / ③海外企業のスポンサー獲得

海外企業を案内する研修ツアーや工場見学では、参加者にとって言語の壁が大きな課題となります。

しかしAI翻訳ツールを活用すれば、リアルタイムでの解説翻訳や多言語字幕の提供が可能のため、言語の違いを超えた学びの場を提供できます。

AI翻訳ツールを活用しない場合

企業ブランドの棄損に
繋がりがねない

海外企業、研修ツアーや工場見学が
言語の壁によって満足できないもの
であった場合、企業ブランドの棄損
にもつながる



十分な学びを得られない

細かなニュアンスまで理解できず、研修ツ
アーや工場見学の目的を果たせない

AI翻訳ツールを活用した場合

十分な専門性の向上やノウハウの吸収に繋がる

専門的な言葉や、細かいニュアンスまで理解で
きるため、研修ツアー・工場見学を通じて専門
性向上、ノウハウ吸収に繋がる



研修や見学を安全に行える

ミスコミュニケーションが生まれにくいた
め、研修・工場見学を安全に実施できる

自社ブランドの向上に繋がる

多国籍に配慮した環境を用意すること
で、自社ブランドの向上も期待できる

AI翻訳ツールによって期待できること

①海外企業とのビジネス機会拡大 / ②企業ブランドと国際的な信頼性向上 / ③研修のDX化

教育現場でも多言語対応の重要性は増えています。特に、**オンライン教育講座の聴講や海外キャンパスとの交流、あるいはインタナショナルスクールでの説明会**では、言語の壁が学びの機会を制限する課題となりかねません。

そこでAI翻訳ツールを導入することで、教育のグローバル化を図る学校が増えてきています。

AI翻訳ツールを活用しない場合



AI翻訳ツールを活用した場合



AI翻訳ツールによって期待できること

- ①グローバルな学生の獲得 / ②国際的な共同研究・交流の促進 / ③教育コンテンツの拡充

行政や金融機関などの窓口業務においても、AI翻訳ツールは効力を発揮します。海外ではすでに各種窓口対応において、AI翻訳ツールを導入する事例が増えてきていますが、日本においては事例が少ないのが現状です。

では、窓口業務がAI翻訳ツールでどのように変わるのかみていきましょう。

AI翻訳ツールを活用しない場合

受付担当の負担が大きく、
利用者の待機時間が伸びる

外国語での対応に負担がかかり、他の利用者の満足度も下がってしまう



ミスが起きやすい状況を作ってしまう

言語の違いによって説明が不十分となり、申請ミスや誤認識が生じる可能性がある

AI翻訳ツールを活用した場合

職員、従業員のエンゲージメント向上も期待できる

多言語対応に不安がない状況を作れるため、職員や従業員のエンゲージメントが向上する。属人化も防げる。



窓口業務の負担が減り、
利用者の満足度も向上する

リアルタイム翻訳機能により、窓口業務の効率が向上し、待ち時間も短縮される



正確な情報提供でトラブルを防ぐ

正確な情報提供でトラブルを防ぐ

AI翻訳ツールによって期待できること

①行政サービスの利便性向上と外国人定住者の増加 / ②新規顧客獲得 / ③窓口業務のデジタル化とDX推進

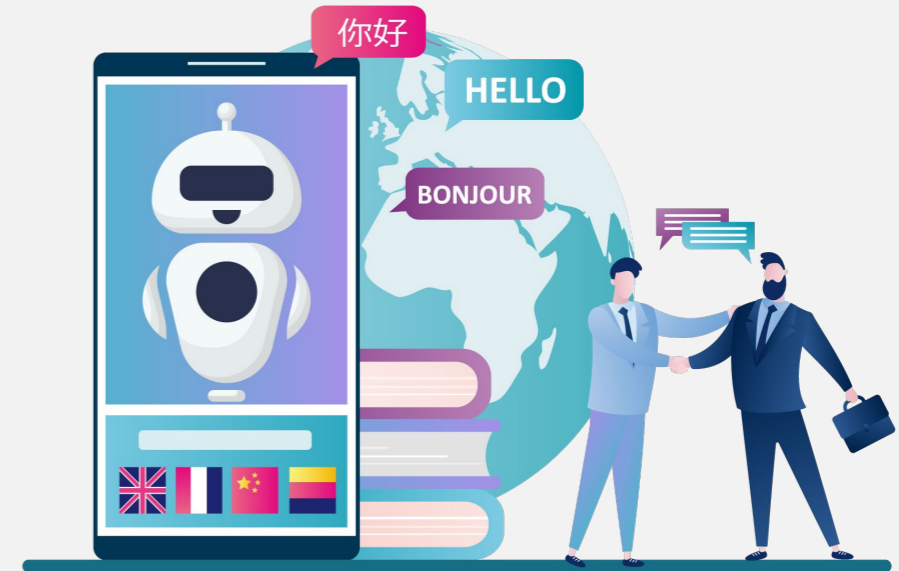
● AI翻訳ツールなら低コスト×リアルタイムで60以上の言語に対応する「Wordly」

AI翻訳ツールは、グローバル化が進む現代においてビジネスチャンス拡大に貢献すると言っても過言ではありません。ただし、やはりツールによって精度にばらつきがあるため、より正確にリアルタイム翻訳が可能なツールを選ぶ必要があります。中でもおすすめなのが「Wordly」です。60以上の言語へ同時通訳が可能であり、2026年3月時点で導入ユーザーが500万人を超えています。AI翻訳ツールの導入を検討している場合には、サービス資料をチェックしてみてください。

Wordlyはこんな方におすすめ

- ・ 通訳/翻訳のコストを削減したい
- ・ 精度の高いAI翻訳ツールを探している
- ・ 海外のステークホルダーとのコミュニケーションを円滑にしたい

Wordlyのサービス資料をダウンロードする



※「Wordly」はワードリー株式会社の製品です

ご連絡先

パナソニック デジタル株式会社

大阪本社 TEL：06-6906-2801 住所：〒530-0053 大阪府大阪市北区末広町2番40号 Panasonic XC OSAKA

東京本社 TEL：03-5148-5634 住所：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目21番1号 住友不動産汐留浜離宮ビル23階

Panasonic